

## 第3章 下水道事業を取り巻く将来推計

### 1. 人口普及率の推計

人口普及率については、2018（平成30）年度末で98.8%であること、市街化区域の汚水管の整備も概ね完了していることから今後は微増であると予測されます。また、一部の市街化調整区域\*の整備をしていることから、本計画期間の人口普及率を99.0%とし10年間横ばいで推移するとします。

### 2. 処理区域内人口の推計

処理区域内人口は、当市の未来づくり研究所の「町田市将来人口推計報告書」の推計値に、人口普及率推計の99.0%を掛けた値とします。

当市の処理区域内人口は、徐々に減少していくと見込まれます。

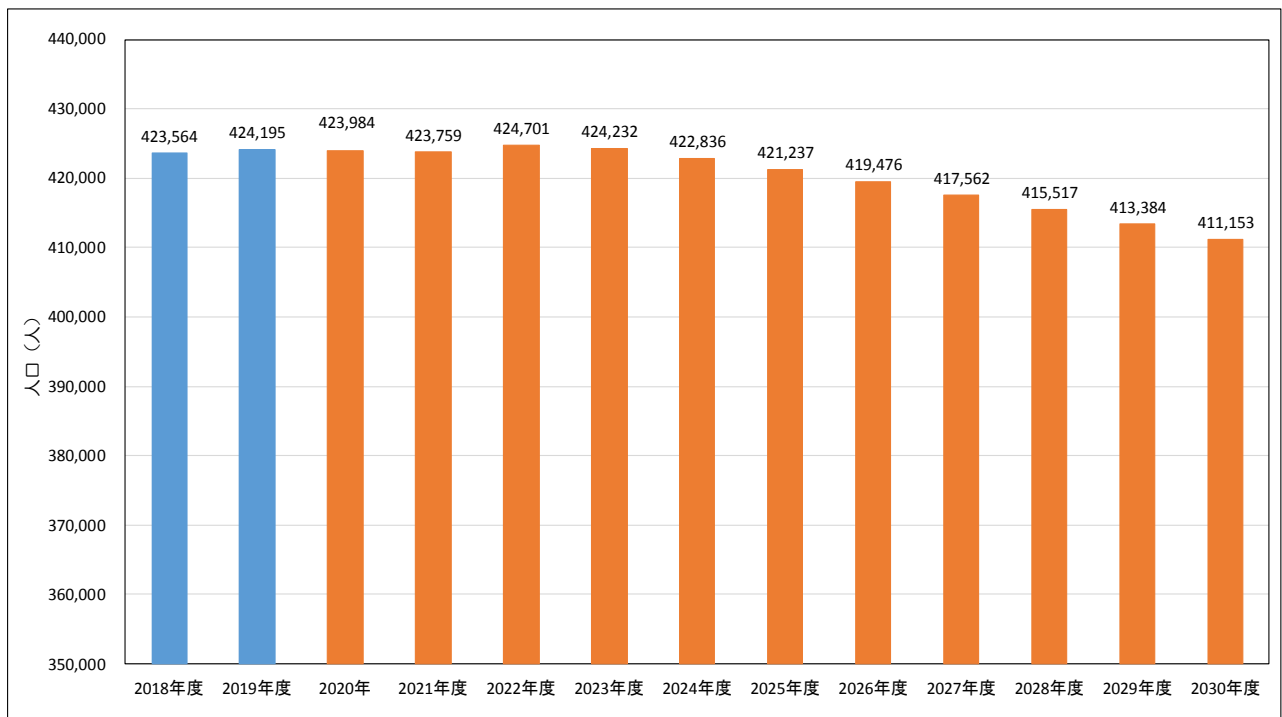


図 3-1 将来処理区域内人口の推計



### 3. 有収水量の推計

年間1人当たりの有収水量を算出すると、有収水量が多かった2013（平成25）年度は、 $104\text{m}^3$ でしたが、徐々に減少し2018（平成30）年度は、 $98\text{m}^3$ でした。本計画期間では大きな変化は見込まれないとして、将来の年間1人当たりの有収水量を $98\text{m}^3$ とします。また、接続率については、概ね整備が完了していることから2018（平成30）年度実績と変わらないとして、99.3%（P.16）とします。

よって、将来の有収水量の予測は、推計の処理区域内人口に接続率99.3%と年間1人当たりの有収水量 $98\text{m}^3$ を掛けた値としました。結果、2030（令和12）年度の有収水量は、約 $4,001\text{万m}^3$ となり、2018（平成30）年度の値より、約 $124\text{万m}^3$ の減少となります。

表3-1 年間1人当たりの有収水量の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
有収水量 ( $\text{万m}^3$ )	4,102	4,088	4,136	4,186	4,128	4,137	4,138	4,151	4,125
水洗化人口 (万人)	39	40	40	40	40	41	42	42	42
年間1人当たりの 有収水量 ( $\text{m}^3/\text{年}$ )	104	103	104	104	102	100	99	99	98

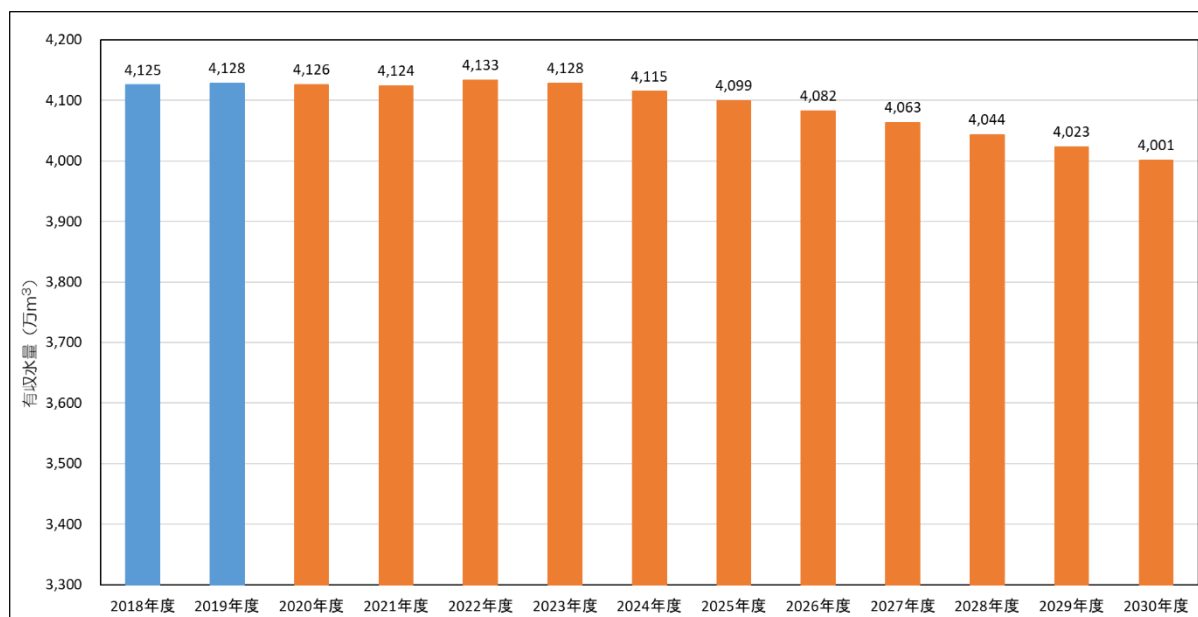


図3-2 将来有収水量の推計



#### 4. 下水道使用料収入の推計

下水道事業財源の根幹をなす下水道使用料収入は、現在は約 54 億円で推移している状況です（P.20）。2019（令和元）年 10 月に消費税率が 10%に変更されたことに伴い、以後の収入額は一時的には増額となる見込みですが、中長期的には今後の人口減少及び有収水量の減少傾向を加味した収入予測が必要となります。

当市の 1 m<sup>3</sup>当たりの使用料単価については、表 3-2 で示すとおり近年は減少傾向となっています。今後も、人口減少などから使用料単価の大幅な増加は見込めないため、直近の実績である 2018（平成 30）年度の 120.6 円/m<sup>3</sup>を原単位とし、有収水量の推計値（P.34）に原単位を乗じた後、消費税率を乗じることで将来の下水道使用料収入見込み額を算出することとします。

表 3-2 下水道使用料単価の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
下水道使用料収入(百万円)	5,409 (5,151)	5,360 (5,105)	5,190 (4,943)	5,474 (5,213)	5,561 (5,149)	5,510 (5,102)	5,529 (5,119)	5,486 (5,080)	5,372 (4,974)
年間有収水量(万m <sup>3</sup> )	4,102	4,088	4,136	4,186	4,128	4,137	4,138	4,151	4,125
下水道使用料単価(円/m <sup>3</sup> )	125.6	124.9	119.5	124.5	124.7	123.3	123.7	122.4	120.6

※ 下水道使用料収入の( )内は税抜額

※ 下水道使用料単価＝下水道使用料収入(税抜)÷年間有収水量×100（小数点以下第2位を四捨五入）

本計画期間の下水道使用料収入額は、人口減少及び有収水量が減少見込みであることに伴い減少し、2030（令和 12）年度では税込で約 53 億円となり、2018（平成 30）年度の税込決算額よりも約 0.6 億円の減額見込みとなります。



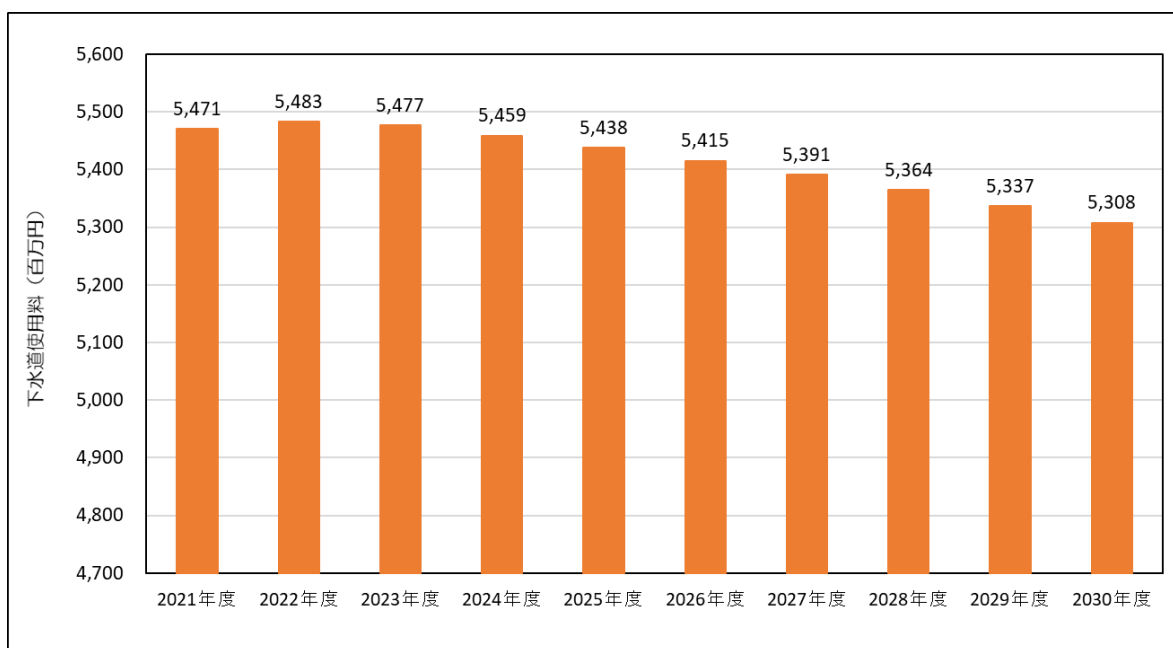


図 3-3 将来の下水道使用料収入額（税込）の推計

表 3-3 下水道使用料の見込み値算出表

年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
見込有収水量(万 $m^3$ )	4,124	4,133	4,128	4,115	4,099	4,082	4,063	4,044	4,023	4,001
下水道使用料単価(円/ $m^3$ )	120.6									
下水道使用料収入(百万円)	5,471 (4,973)	5,483 (4,984)	5,477 (4,979)	5,459 (4,962)	5,438 (4,944)	5,415 (4,923)	5,391 (4,901)	5,364 (4,877)	5,337 (4,851)	5,308 (4,825)

※ 下水道使用料収入の( )内は税抜額

※ 見込の下水道使用料＝見込有収水量×下水道使用料単価×消費税 1.1(百万円未満を四捨五入)

